

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）の活用状況について

事業名：広域連携拠点施設（熱利用施設）整備事業（令和6年度採択額 32,447 千円）
※笠岡市，井原市，浅口市，里庄町及び矢掛町の共同事業。採択額は3市2町の合計。

1. 事業の概要

本施設は3市2町が岡山県西部衛生施設組合の施設として整備する。隣接地に建設中の新ごみ焼却施設から発生する熱を供給し，温水プールや温浴施設等の熱源として利用する。圏域内企業の健康経営のサポートを行うほか，子ども達が天候に関わらず運動できる場を提供する。温水プールでは18校の小中学校の水泳授業を予定している。また，都度利用しやすい料金設定や，3市2町の観光施設と連携したイベントの実施等により圏域外からの交流人口の拡大にも寄与する。

2. 交付金の具体的使途

【令和6年度（1年目）】

広域連携拠点施設（熱利用施設）整備事業における調査，基本設計，実施設計及び各種申請を行う。

【令和7年度（2年目）】

広域連携拠点施設（熱利用施設）整備事業における建築工事，建築設備工事，熱供給配管工事，外構工事及び工事監理を行う。

【令和8年度（3年目）】

広域連携拠点施設（熱利用施設）整備事業における建築工事，建築設備工事，熱供給配管工事，外構工事，備品等工事，工事監理及び開業準備を行う。

3. 事業の実施体制

【整備主体】

岡山県西部衛生施設組合

（構成市町：笠岡市，井原市，浅口市，里庄町，矢掛町）

【事業者】

ホシノWA株式会社 代表取締役 阿河 尚也